



「温かい言葉（ふわふわことば）」 と「冷たい言葉（ちくちくことば）」

「ひとつのことば」

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなかおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を持っている
きれいなことばは きれいに心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを 大切に
ひとつのことばを 美しく

先日、生徒みんなで作り上げていった体育祭が終わりました。

様々な準備をして、たくさんの練習を重ねて作り上げていった体育祭でしたが、その間にたくさんの「熱い応援」「温かい言葉がけ」が仲間同士であったことでしょう。

また保護者の方々、地域の方々が800人以上来校し、たくさんの応援をいただき、生徒の皆さんのさらに頑張る力となりました。

そして皆さんの一人ひとりの頑張りは仲間に勇気を与えただけでなく、応援して下さったたくさんの方々に元気を与えたのではと思います。

さて、「温かい言葉がけ」の話をしました。言葉には大きな力があります。言葉は必ず何らかの形で相手にも自分にも影響を与えます。

言葉は大きく「温かい言葉」と「冷たい言葉」2つの種類に分けることができます。小学生の時に「ふわふわことば」「ちくちくことば」と習った人もいることでしょう。

「温かい言葉」は「ありがとう!」「頑張っているね!」「すごいね!」などの「肯定的な言葉」、「相手のことを思って言う温かい気持ちのこもっている言葉」のことで、人を元気にし、前向きな気持ちにさせる力を持っていると言われています。

「冷たい言葉」は、「否定的な言葉」「相手の心を傷つける冷たい言葉」です。相手に対して言ってしまった否定的な言葉は、人の心を傷つけ、それが自分にも返ってきて、自分を傷つけることもあります。

「温かい言葉」を使えば、個人や周りが元気になり前向きな雰囲気が生まれ、「冷たい言葉」を使えばそうではなくなります。学校、学年、クラスや部活、委員会等の皆さんが活動する場が、成長する場になるためには、たくさんの「温かい言葉」が大切になってきます。「温かい言葉」に包まれる学校となったら、とても素敵なことだと思います。

ちなみに、上の詩は北原白秋の作った詩（諸説ありますが）だと言われているものです。言葉の大切さを改めて考えさせられる詩だと感じましたので、紹介させていただきました。

体育祭 参観ありがとうございます

朝方は風が強くテント等の復旧作業に追われましたが、日中は穏やかな天候のもとで実施することができました。来賓や保護者、卒業生合わせ876名もの方々にご参観いただきました。また、PTAの方々には、受付や案内、広報でお世話になりました。ありがとうございました。



協議会始動

5年度より北野小・中学校にて、モデル校として学校運営協議会（コミュニティ・スクール）が始動いたしました。本年度は北中小学校も加わります。下記の要領で、第1回目の会議を開催いたします。

日時 令和6年6月20日（木）11:00～

場所 北野中学校 大会議室

傍聴定員 15名（先着順）

※傍聴を希望される方は6月19日（水）17:00までに本校教頭まで電話にてお知らせください。定員に達し次第受付終了となります。

（ボランティアも随時募集しております）

教科書展示会のお知らせ

- ・期間：6月14日（金）～6月27日（木）
- ・時間：10:00～18:00
※12:30～13:30は閉館
※土・日曜日は10:00～12:30
- ・場所：所沢市立教育センター
- ・その他：詳しくは教育センターホームページをご覧ください。

<http://edc-tokorozawa.edumap.jp/>



北野中学校区学校運営協議会
（コミュニティ・スクール）ロゴマーク



北野中ホームページはこちらから
～毎日更新、情報発信に努めております～
<https://tokorozawa-kitano-jhs.edumap.jp>

